



終活あれこれ

⑤

お墓を継ぐ人がいなかったら、生前に墓じまいをしておこう

放置されたお墓は・・・

少子化にともない、お墓を守る人（祭祀継承者）も減って、墓じまいをする人が増えてきた。

墓参りに行かなくなったり、管理料を支払わなくなったりすると、無縁墓として扱われ、最終的には撤去され、中の遺骨は複数の遺骨をまとめて合祀墓に入れられる。

調査によると、現在4割程のお墓が無縁墓になっていて、10年後には約6割が無縁墓になると予想されている。

お墓を継ぐ人が自分のほかないのであれば、早めに墓じまいをしておきたい。

合祀や散骨、手元供養など維持費のかからないものにしておくほうが良い。

墓じまいとは・・・

公営墓地へ改葬合祀

寺院・霊園のお墓から公営墓地の

永代供養墓地（合祀墓）に移転して供養。（費用は安いですが抽選になることが多い。）

菩提寺での永代供養

一般的なお墓から、遺骨を永代供養墓地（合祀墓）に移転して供養。

（20万円～100万円）

納骨堂

一般的なお墓から、遺骨を納骨堂に移して供養。（15万円程～）

手元供養

遺骨をお墓から取り出したあと、クリーニングして新しい骨壺に入れて、自宅で供養。（10万円程～）

散骨

遺骨をお墓から取り出して粉末にし、海などに散骨する。（粉末化3万円程、海洋散骨15万円）

金額については、それぞれの地域により異なると思われます。地元の相場を確認するされることをお勧めいたします。